

事業	事業名	交通安全施設整備費				担当部署	部名	都市整備部
							課名	道路・河川管理課
040							電話	52 - 7394
事業期間		開始年度	平成 18 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち					款	土木費
	政策名(章)	第 4 章 安心して暮らせるまちづくり					項	道路橋梁費
	施策名(節)	第 5 節 交通安全対策の推進					目	道路維持費
	実施計画掲載	有	38 頁	個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	誰を・何を	全市民及び道路利用者					
	意図	どのような状態に	交通安全施設の整備を推進し、交通事故を防止し、安全で快適な道路交通環境を確保する。					
事業内容	手段	どのような方法で	・道路反射鏡(カーブミラー)や区画線の新設及び修繕 ・ガードレール等防護柵の整備及び修繕 ・街路灯設置・修繕による交通安全対策の推進					

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度			改修年度			類似施設状況			
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況			
設備・規模										

施設等整備事業	総事業費	425,568 千円	財源内訳(千円)	国庫支出金	8,000	県支出金		市債		その他	609	一般財源	416,959
	整備内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度					
		道路反射鏡 22基 区画線 12km 防護柵 153m 街灯 74基			道路反射鏡 13基 区画線 22km 防護柵 345m 街灯 77基			道路反射鏡 11基 区画線 28km 防護柵 290m 街灯 70基					

その他	特記事項等											
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業	040	事務事業名	交通安全施設整備費	担当課	道路・河川管理課
----	-----	-------	-----------	-----	----------

指標名	単位	H23年度実績	H24年度			H25年度 目標・見込	
			目標・見込	実績	達成率		
活動指標	交通安全施設整備件数	件	96	90	90	100.0	81

		平成23年度決算	平成24年度決算	伸率	平成25年度予算	
事業費・人件費	事業コスト	直接事業費	119,782 千円	126,847 千円	5.9	151,193 千円
		うち臨時職員人件費	千円	千円		千円
		正規職員人件費相当額	8,160 千円	8,092 千円	0.8	8,092 千円
		退職手当引当金相当額	1,140 千円	1,131 千円	0.8	1,131 千円
		事業コスト計	129,082 千円	136,070 千円	5.4	160,416 千円
		財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
	そ の 他	609 千円	千円	皆減	千円	
	一 般 財 源	128,473 千円	136,070 千円	5.9	152,416 千円	
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	1.20 人	1.19 人	0.8	1.19 人
		臨時職員	人	人		人
利用者1人当たりコスト		-	-			
	うち一般財源ベース分	-	-			

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	歩行者及び通行車両など道路利用者の安全な道路交通の確保のため、適確な交通安全施設の整備は必要不可欠である。
有効性	4	危険箇所に交通安全施設を整備することで、事故をも未然に防ぎ、安全で安心な道路環境を確保できる。
達成度	3	要望や整備箇所は多数あるが、緊急性の高い箇所から整備を行っている。
効率性	3	施設管理台帳システムを整備し、また、地域振興会に街灯修繕の連絡体制を構築するなど、効率的事業に努めている。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
引き続き、危険箇所等に交通安全施設を整備し、安全で快適な道路環境の確保に努める。				